

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	秋田わか杉国体実行委員会補助金				
担 当 課 係 名	管財課		係	作成者	大石誠亮
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実			97
予 算 費 目	一般	会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	11 目 国民体育大会費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	わが国最大の体育・スポーツの祭典で、各都道府県対抗競技
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	第62回国民体育大会の開催
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	カヌー競技・軟式野球競技・馬術競技・デュアスロン競技

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	競技数		1	4		
		観客動員数					
	成果指標						
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)			78,223	148,642		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金		38,749	70,248		
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		39,474	78,394		
	人 件 費 (B)		—	0	0		
		職 員 数	—				
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	78,223	148,642		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	78,223,000	37,160,500	
				—			
		市民1人当たりのコスト(円)		—	2,453	4,735	

【事務事業の今までの成果】

4種目の競技が開催され無事終了することができた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	平成20年度は大分県で開催される。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	競技期間中、実施競技対する市民の関心度が高まった。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	国体の開催は、市民へ大きな感動を与え、また、選手役員及び多くの観客動員があり、それに伴った経済波及効果もあり、成功裏に終了した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	市民へ大きな感動を与え、国体開催による経済波及効果もあり、成功裏に終了した。

一次評価診断図

